

平成29年度 第1回 学校評議員会 記録

日時 平成29年6月20日(火)
10:30 ~ 11:50
会場 気仙光陵支援学校 会議室

【出席者】

| | |
|---|--|
| 〈 学校評議員 〉 A委員 (教育関係) B委員 (卒業生関係) C委員 (進路先関係) D委員 (地域関係) E委員 (地域関係機関) | 〈 学 校 〉 校 長 副校長 2名 事務長 教務主任 小学部主事 中学部主事 高等部主事 寮務主任 |
|---|--|

1 開会のことば

2 校長挨拶

- ・ 今年度は小学部14名、中学部20名、高等部44名計78名の児童生徒が在籍している。
- ・ 今年度は創立30周年記念の年となります。地域の皆様に支えられてお陰様で30周年を迎えることとなったが、11月には30周年記念式典を開催するので、ぜひご参加いただき、本校30周年を盛り上げていただきたい。
- ・ 本校は気仙地区の障がいのある子どもたちのための充実した教育活動が求められている。
- ・ 学校評議員の皆様には様々な意見や提言をいただき、本校が地域に根ざし地域に開かれた学校となるよう助言をお願いしたい。

3 出席者自己紹介・・・ 上記出席者のとおり

4 協 議

(1) 学校経営計画について (校長)

別紙資料により校長が説明

(2) 各学部・寄宿舎運営計画について

スライドにより学部主事、寮務主任が説明

(3) 進路指導の状況について

資料にとり担当副校長が説明

(4) 支援事業の状況について

資料により担当副校長が説明

(5) その他

(6) 協 議

(A委員)

- ・ 通常学級に在籍する生徒の支援について、先生方の熱心な指導、支援に感心した。教育の原点は支援学校にあると言うが、是非他校へも波及させたいものだ。
- ・ 支援学校の専門性を積極的に、小・中・高に発信して欲しい。

(B委員)

- ・ 子どもだけでなく、親も地域との関係が必要だと思う。

(C委員)

- ・ 施設設備の点で、安全対策を考えると、転落、転倒防止のためにも、階段の一段目に目印があった方が良くと思うを

(D委員)

- ・ 授業を見学させていただき思ったことは、先生方が一生懸命子どもたちを育てていることを感じる。学校教育の基本をいつもこの学校に来ると感じる。更なる個別指導に期待したい。

(E委員)

気仙太鼓への取組、権現舞への取組、草刈りバスターズ等、出来ることを増やすために経験や体験の積み重ねを大切にして、地域に開かれた支援学校だと思った。

(A委員)

交流籍を活用した交流及び共同学習は、どれくらいの児童が活用しているのか。

(担当副校長)

小学部では、14人中12名が交流籍により活動している。中学部では20人中8名が交流籍により活動している。中学部の活用割合が低い、年々増加傾向にある。

(A委員)

地域の中学校や高等学校との交流学习は、何処の学校と交流を継続しているか教えて欲しい。

(担当副校長)

立根小学校、有住中学校、大船渡第一中学校、大船渡東高等学校、大船渡高等学校と交流活動を行っている。

(C委員)

作業学習の5グループについて、年度における再編はあるのか。

(高等部主事)

年度毎に希望調査を行って、グループ編成を行っている。

(B委員)

自分の娘も本校でお世話になり卒業したが、卒業後、福祉施設を2カ所同時に利用できない現状に困っている。障がい者が施設を複数利用出来るように今後も要望をお願いしたい。

【校長より】

長時間に渡り貴重なご意見をありがとうございました。今後も特別支援教育センター校として、研修実践を積み重ねながら、特別支援教育の専門性の向上を目指すとともに、地域社会に積極的に情報共有し、専門性を共有できるようにしていきたい。

また、本日の学校評議員の皆様のご助言を、今後の教育活動に生かして、開かれた学校づくり、信頼される学校づくりの推進に取り組んでいきたいと思っております。

本日は貴重なご意見、ご助言をいただき誠にありがとうございました。

5 閉会のことば